

安佐市民病院の建替えに係る広島市立病院機構中期計画の変更について

1 概要

安佐市民病院の建替えに当たっては、平成27年9月議会で承認された機能分化整備方針に基づき、これまで検討を行ってきた事項を広島市立病院機構の中期計画に定めるものである。

2 中期計画に定める内容 ※ 下線部分は今回、中期計画に追加する内容

(1) 安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充

① 基本的な考え方

耐震性の向上と老朽化・狭あい化の解消、高度で先進的な医療機能の拡充等を図るため、安佐市民病院の建替えを進めます。

建替えに当たっては、高度で先進的な医療機能、災害拠点病院としての機能及びへき地医療機関としての機能を荒下地区に、日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等を広島市、関係機関と協議しながら、現在の北館に整備します。

② 整備する場所

・高度で先進的な医療機能等の主要な医療機能

広島市安佐北区亀山南一丁目「荒下地区」(敷地面積 約40,000㎡)

・日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等

広島市安佐北区可部南二丁目「現在地」(敷地面積 約10,000㎡)

(2) 荒下地区に整備する病院

① 担うべき医療の基本的な方向性

- ・高度で先進的な医療の拡充
- ・災害拠点病院としての機能の拡充
- ・県北西部地域等の病院支援と患者の受入れの拡充

② 整備スケジュール

- ・基本計画：平成27年度～28年度
- ・基本設計：平成28年度～29年度
- ・実施設計：平成29年度～30年度
- ・建設工事：平成31年度～33年度
- ・開設：平成34年春（見込み）

③ 整備費

- ・今期中期計画（平成27年度～29年度）：7億1千万円
 - ・次期中期計画（平成30年度～33年度）：305億6千万円
- 合計312億7千万円

(3) 現在の北館に整備する病院

① 担うべき医療の基本的な方向性

日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等の拡充

② 整備スケジュール

- ・整備計画：平成29年度～30年度
- ・設計：平成31年度
- ・改修工事：平成32年度～33年度
- ・開設：平成34年春（見込み）

③ 整備費

- ・次期中期計画（平成30年度～33年度）：9億9千万円

〔参考：地元説明を行った現在の検討状況〕

1 荒下地区に整備する病院の概要等

(1) 施設概要

- ・病院敷地（約4万㎡）
- ・病院建物（鉄骨造り（一部鉄筋コンクリート造り）、地下1階・地上5階建て）の建築面積（約1万5千㎡）・延床面積（約4万㎡）
※ エネルギーセンター等を除く病院機能部分のみ
- ・附設駐車場（約1千台）
- ・附属施設（家族等宿泊施設、医師住宅、職員宿舎、院内保育所）

(2) 主な医療機能

- ・病床数（450床：うちICU（集中治療室）10床・HCU（集中治療管理室）20床）
- ・診療科目（32科目）
- ・救命救急センター（19床、ヘリポート併設）、手術室（13室）、災害医療、へき地医療

2 現在の北館に整備する病院の概要等

(1) 施設概要

- ・敷地面積（約1万㎡）
- ・病院建物（鉄骨鉄筋コンクリート造り、地上6階・塔屋2階建て）の建築面積（約3千㎡）・延床面積（約6千㎡）
※ 建物全体の延床面積約1万㎡のうちの1階から5階までの病院部分
- ・附設駐車場（約100台）

(2) 主な医療機能

- ・病床数（77床：うち地域包括ケア病床57床程度・緩和ケア病床20床程度）
- ・診療科目（総合内科）
- ・認知症センター、健診センターを併設

(3) 病院以外の施設との連携

- ・地域包括ケア拠点、夜間急病センターとの連携による医療の提供

(4) 設置・運営

- ・広島市が安佐医師会に設置・運営を依頼した。
- ・市立病院機構が保有する病院建物を安佐医師会に貸し付け、市と機構が一体となって円滑な病院運営のために必要な支援を行う。